

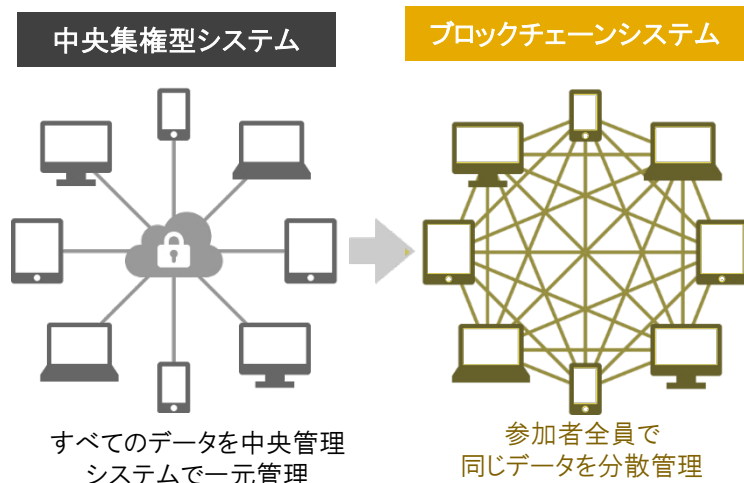
PICK UP
TOPICS

幅広い活用が期待されるブロックチェーン

フィンテックの分野のひとつに、ビットコインに代表される「仮想通貨(暗号通貨)」があります。その仮想通貨が通貨として機能し、サービスが成り立つ上で非常に重要な技術と言われているのが「**ブロックチェーン**」です。

ブロックチェーンとは、インターネット上でつながった複数の参加者でモノや資産の全ての取引記録を共有し、データの改ざんを困難にする技術のことです。

その高いセキュリティ性から、今後、各種取引や行政サービスなど様々な分野での活用が期待されています。



上記はイメージです。

ブロックチェーンを利用する主なメリット

- システム開発・維持が低コスト
- データの改ざんが困難

ブロックチェーン技術の活用先の一例

仮想通貨(暗号)	医療情報
登記(不動産など)	国民投票や選挙
証券取引	貿易金融(決済処理)

日本では、2018年に茨城県つくば市が、マイナンバーとブロックチェーン技術を使った国内初のインターネット投票を行ないました。 ネット投票で懸念される不安材料がブロックチェーン技術を用いることで解決され、成功が実証されています。

フィンテックから生まれたブロックチェーン技術は、仮想通貨を支える基盤だけではなく、すでに応用範囲は多岐に渡り、さまざまな分野で活用され始めています。



○当資料は、日興アセットマネジメントが「フィンテック」についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。○投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。